

# かちん通信



2013年12月3日、第4回口頭弁論が行われまし

た。平日の午前にも関わらず、約200人もの希望者が

傍聴券を求めて列をつくりました。朝高生も多く訪れ、全

員が傍聴することはできませんでしたが、多くの人に注

目されている事件だということを示したので

はないでしょうか。

今回の口頭弁論では、原告番号5番の意見陳述と国

側の釈明の文書が提出されました。原告5番は、署名

活動や街頭宣伝を通して感じた2つの矛盾を指摘した

上で、日本の社会構造が差別主義社会であり、それは

無知から生まれるものであると主張しました。

原告学生が裁判官に  
思いも訴えました!



原告5番の意見陳述を要約すると。。。

①在日朝鮮人への偏見から誤解が生じ、差別につながっている。署名活動をしているときに「頑張っね」と言ってくれる人もいれば「うるさい、帰れ」と言う人もいたが、どちらも第三者の目線であり無知であることは変わらない。

②在日朝鮮人自身が差別は当たり前と誤ってしまっている。

街頭宣伝でよく「私たちは日本の高校生と同じです。」と言うことがある。しかし、本来は違って当たり前で「同じ」と言わないと認めてもらえない、「違う」から差別されて当たり前という感情がある。

という2点を挙げました。

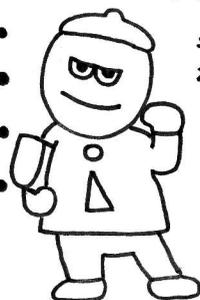
原告5番は、朝鮮学校での学びを通して朝鮮を好きになり、周りとは違っていいと思えるようになったといいます。そして、違いも認め合い個々人の自主権を守ること、朝鮮、ウリハツキョ、在日朝鮮人のことを知ろうとしてほしいと訴えました。

法廷にいる全員が原告5番の意見陳述に引き込まれた様で、傍聴者から自然と拍手が沸き起こり、裁判官がたしなめる局面がありました。

次回期日 ④名古屋地方裁判所

第5回口頭弁論：2014年2月4日(火) 14:00~

※傍聴の抽選は、13:30が締切です。



## 報告集会での解説 PICK UP

報告集会では、国側の釈明について説明がありました。

これまでの裁判では、まず第1回の口頭弁論で訴状陳述があり、第2回口頭弁論で訴状に対する国の反論がありました。これは「朝鮮高校を無償化の対象にしてもよいという確信が持てなかったため除外した」という到底納得できる内容ではなかったため、第3回口頭弁論で①「朝鮮高校は2011年11月の国が指定した無償化の基準に沿っていたのにも関わらず、延坪島砲撃事件を理由に、事件の関与できるはずのない学校になぜ制裁的な措置を取ったのか」②「八項の削除はなぜなのか」と追及し、それに対する釈明を求めました。

そして、第4回口頭弁論で、国の釈明の文書が提出されました。

その内容は①「韓国と朝鮮民主主義人民共和国が戦争になるという報道によって、(審査員も報道の影響を受けるため) 平常時と違い公正な審査ができず、朝鮮学校にとって不利な判断となるため停止した」②「朝鮮学校は法令にのっとって経営されているか確証がなく、他のことに使われるおそれがあるが、(審査をしても) いつまでも分からない。ホライゾン・ジャパンインターナショナルスクールやコリア国際学園など八項に当てはまる学校は指定を終えたため、すでに八項に当てはまる学校はない」という、失笑を禁じえないあまりにむちゃくちゃなものでした。

今後は専門家にも協力してもらいながら、さらに追及がなされていきます。

報告集会でも言われていましたが、長い闘いになる裁判において傍聴が少なくなってしまうたら、かなり厳しいものになってしまいます。

一人一人が当事者として、裁判をともに闘っていきましょう！！

次回、第5回の口頭弁論は2月4日の14時からです。

## 第2次原告が提訴しました！！

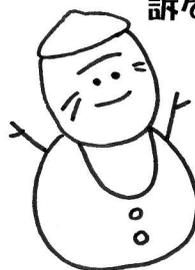
12月19日(木)、愛知の無償化裁判の第二次提訴として、新たに原告5名が名古屋地裁に提訴しました。

提訴後、記者会見が行われ、愛知朝鮮学園の声明、朝鮮高校無償化ネット愛知の声明が発表され、あわせて原告のメッセージが愛知朝高教員によって代読されました。また、弁護団による解説のほか、記者との質疑が行われました。

今回の提訴により、愛知では計10名の原告が裁判をする状況になり、参画を希望される弁護士が増えたことから計35人に大幅に増員されました。

また、この日、同時に九州朝鮮中高級学校の高級部生徒・元生徒67名が国賠訴訟を福岡地裁に提訴しました。九州の弁護団は現在47人の弁護士で構成されているようです。

東京朝鮮中高級学校の生徒・元生徒も2014年の年明けに提訴を予定しています。



朝鮮高校にも差別なく無償化適用を求めるネットワーク愛知 会報

〈こてい通信 かわら版〉Vol.2 発行2013年12月

愛知県豊明市栄町南館55 愛知朝鮮学園内

Mail:mushoukanet.aichi@gmail.com

URL:http://mushouka.aichi.jp

Facebook:mushouka.aichi twitter:mushouka\_aichi

編集:USM~うい/ハッキョサポートネットメンバーズ~